

春かぼちゃの管理ポイント

1. 定植，活着

定植苗は本葉4枚摘芯苗とし，極端な深植をしない。
良い活着の目安は，本葉4枚目が3枚目より大きいこと。

2. 温度管理

活着までは日中30，夜温12を目標に管理する。
活着後，日中28～30，夜温10を目標に管理する。
被覆資材の開閉は定植位置の反対側で行う。（直接外気が当たらないように）

3. つる先揃え

子づるが10～15cmくらい伸びてから揃った子づるを2本残す。着果節位まで孫づるの摘除は早めに行う。
つる先を揃え，枝間隔が均等になるように誘引する。



4. 追肥

つる先がマルチ幅に達する頃に，草勢を見ながらマルチの外側（つる先が伸びる方）に施し，中耕する。

5. かん水

着果後，追肥位置にかん水する。（肥料が溶けて効いてくる）
果実肥大の約8割は着果後約20日間で決まるので，この期間に水分が少ないと果実の肥大が悪い。

6. 霜害対策

つる先がハウスから出る頃には，トンネル支柱をハウスの外側に立て，降霜の恐れのあるときは被覆資材をかける。（できるだけ，つる先をハウス内に押し込まないようにする。）

